

基準への適合状況 (先端設備等に係る投資計画)

各年度において増加する営業利益と減価償却費の合計額
投資利益率 (14) = (設備の取得等をする年度の翌年度以降3か年度におけるものに限る。) を平均した額 > 5%
設備の取得等をする年度におけるその取得する設備の取得価額の合計額

<投資の目的>

当初A工場A製品の製造ラインを構成する機械装置導入による売上拡大及び売上原価改善。

設備投資を行った場合 と 設備投資を行わなかった場合を比較して、その差額を記載してください。

(単位: 千円)

Table with columns: 設備投資に伴う変化額, 投資年度, 投資年度の翌年度以降3か年度 (1年度後, 2年度後, 3年度後), 3年度平均 (12の単純平均), 投資利益率 (13÷1). Rows include: 設備投資額 (100,000), 売上高 (25,108), 売上原価 (9,254), 減価償却費 (1,000), 売上総利益 (15,854), 販管費 (0), 営業利益 (15,854), 減価償却費 (1,000), 営業利益+減価償却費 (16,854). Final investment rate is 16.8%.

本件設備投資による効果について

※新規設備投資による効果を記載 (適宜、編集して記載。別紙等でも可)

(1) 売上高への効果

(単位: 千円)

Table for sales volume effect: 売上高の変化額 (2) with values 25,108 for 1, 2, and 3 years post-investment.

(2) 売上原価への効果

(単位: 千円)

Table for unit cost effect: 売上原価の変化額 (4) with total 8,254. Breakdown includes: 製品Aの販売量の増加に伴う原材料費等への影響 (12,554), 製品Aの歩留まり率の向上に伴う仕損費の改善 (3,600), 設備導入に伴う光熱費の改善 (500), 設備導入に伴う修繕費の改善 (200).

(3) 販管費への効果

(単位: 千円)

Table for selling expenses effect: 販管費の変化額 (8) with value 0 for 1, 2, and 3 years post-investment.